

作成年月日：2020年12月1日（Ver.1.0）

久留米大学では、大牟田公害認定患者さんから取得された大牟田市保健福祉保健衛生課に保管されている情報等を使用して下記の研究を行っています。本研究で使用される情報等は他機関への提供は行いません。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者および大牟田市保健福祉保健衛生課にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】 小児期気管支ぜん息のコントロールレベルと肺の発育障害に関する研究**【情報の対象者（研究対象者）】**

- 1) 対象期間：西暦 1974 年 9 月から 1988 年 2 月 29 日までに大牟田市公害認定患者として登録されて、西暦 2020 年 12 月までの間に認定の更新をされたことがある方。
- 2) 情報収集施設：大牟田市保健福祉保健衛生課
- 3) 対象疾患等：西暦 1974 年 9 月から 1988 年 2 月 29 日までの登録時に年齢が 20 歳未満で小児ぜん息、小児ぜん息様気管支炎および小児慢性気管支炎と診断された方

【大牟田市公害認定患者データベースから活用する項目】：

【公害認定登録日、認定疾患名、登録時の年齢、性別、ぜん息コントロールレベル[認定等級] 身長・体重、喫煙歴、血液データ[白血球数および好酸球分画]、胸部 X 線、肺機能検査データ [努力性肺活量および 1 秒量]、治療内容、追跡不能日、死亡日および死亡診断書に記載されている死因】

【研究目的】

上記の情報を使用し、小児ぜん息の状態が将来の大人になったときの肺機能（肺活量など）にどのような影響を及ぼすかについて明らかにするために研究を行いたいと考えています。この研究成果が明らかになれば、今現在、ぜん息で苦しんでいるお子さんたちの管理の仕方について、新たな治療法が見いだせるかもしれないと考えています。

【研究期間】 久留米大学倫理委員会承認後から西暦 2022 年 12 月まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません。

【問い合わせ先】

研究責任者（使用する情報の管理責任者）：久留米大学医学部内科学講座 教授 川山智隆

問い合わせ担当者：久留米大学医学部内科学講座 川山智隆

電話: 0942-31-7560（講座直通番号）

E-mail: kawayama_tomotaka@med.kurume-u.ac.jp